

## 第 10 調布市福祉人材育成センターの運営

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	調布市福祉人材育成センターの運営 (重点項目)		市	市	○

### 1 福祉人材の養成

#### 結果の概要

- 資格研修のうち、同行援護従業者養成研修、介護職員初任者研修、重度訪問介護従業者養成研修、知的障がい者（児）移動支援従業者養成研修については、受講者全員がすべてのカリキュラムを履修し、研修を修了した。
- 調布市家事援助ヘルパー養成研修の実施に当たり、事前に市民モニターを対象にしたプレ研修を行い、カリキュラムや内容、期間などを検討した。
- 調布市家事援助ヘルパー養成研修については、47人の受講者に対し42人が研修を修了した。5人については一部のカリキュラムの履修を残しており、次年度での修了を予定している。
- 実際の支援の場面を経験できるよう、すべての資格研修で演習や実習を行った。
- 資格研修の受講者の年代は50代が29%、40代・60代がそれぞれ25%、70代が11%となった。
- 研修の満足度を調査したところ、受講者の90%が「とても満足」、「満足」と評価した。
- 研修修了者95人のうち17人が事業所へ就労した。
- 保育のおしごと研修会・説明会は、12事業所が出展し38人の相談があった。うち1人が保育補助として就労に繋がった。
- 福祉のしごと相談・面接会は、障がい・高齢・保育の三分野から21事業所が出展し54人の相談があった。うち6人が就労に繋がった。

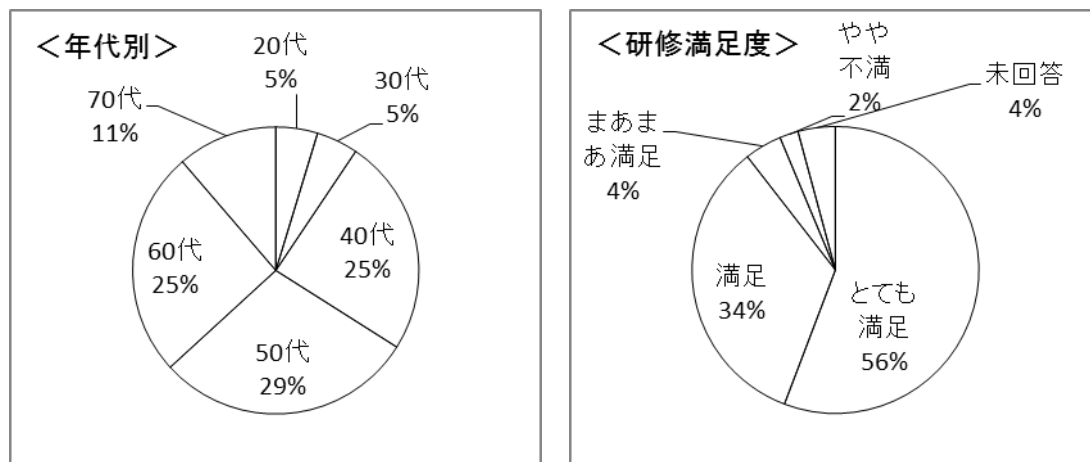
#### 実績等

##### (1) 資格研修の参加状況

日	内容	講師	受講者 (定員)	定員 充足率	修了者	就労者
7/20~7/23	同行援護従業者養成 研修一般課程	外部講師 5人	8人 (16人)	50%	8人	3人
7/30~7/31	同行援護従業者養成 研修応用課程	外部講師 2人	10人 (16人)	63%	10人	

8/29～11/18 【講義】 10/5～11/4 【実習】	介護職員初任者研修	外部講師 26人	11人 (20人)	55%	11人	6人
2/16～2/17 【講義】 2/22～3/15 【実習】	重度訪問介護従業者 養成研修	外部講師 4人	8人 (16人)	50%	8人	0人
3/4～3/5 【講義】 3/11、3/18 【実習】	知的障がい者（児） 移動支援従業者養成 研修	外部講師 5人	16人 (20人)	80%	16人	3人
3/18	ヘルパーフォローア ップ研修	安岡厚子氏	6人 (20人)	30%		0人
7/27	調布市高齢者家事援 助ヘルパー養成研修 (プレ研修)	外部講師 2人	9人			
11/14～11/25【講義】 12/1～12/16【実習】	調布市高齢者家事援 助ヘルパー養成研修 (第1回)	外部講師 13人	28人 (30人)	93%	27人	4人
2/20～3/7 【講義】 3/9～3/24 【実習】	調布市高齢者家事援 助ヘルパー養成研修 (第2回)	外部講師 13人	19人 (30人)	63%	15人	1人
合 計			115人	63%	95人	17人

(2) 資格研修受講者の状況（有効回答者数 95 人を統計）

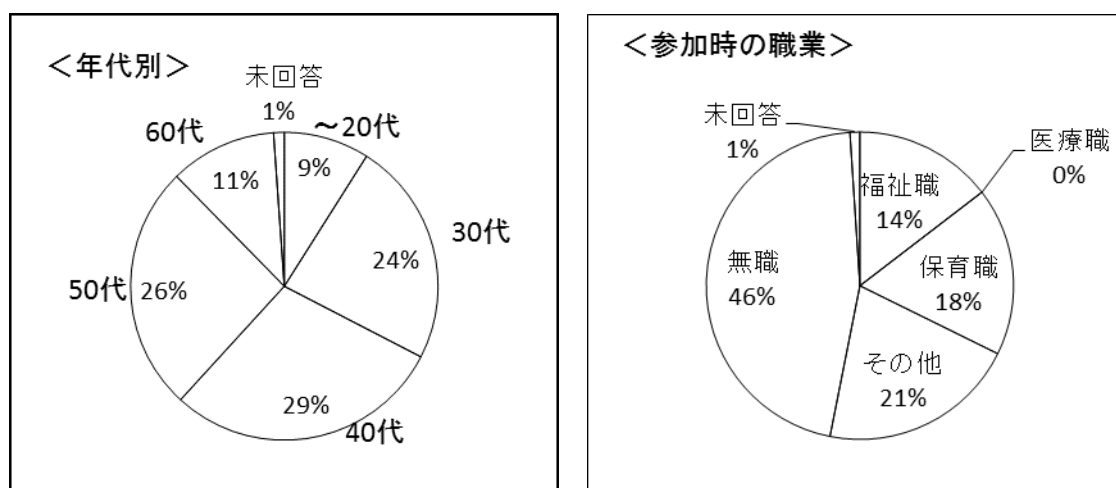


(3) 就職説明会の参加状況

日	時間	内容	出展事業所	相談者 (就労者)
12/11 (日)	13:00～ 16:00	保育のおしごと説明会	12 事業所	38人 (1人)

1/28 (土)	13:30~ 16:00	福祉のしごと相談・面接会	21 事業所	54 人 (6 人)
12/19 (月)	10:00~ 12:00	調布市高齢者家事援助ヘルパ ー事業所説明会 (第 1 回)	5 事業所	21 人
3/27 (月)	13:30~ 16:00	調布市高齢者家事援助ヘルパ ー事業所説明会 (第 2 回)	5 事業所	9 人
2/28 (火)	11:00~ 17:00	福祉のしごと見学会	3 事業所	25 人
合 計			46 事業所	147 人 (7 人)

(4) 就職説明会の参加者の状況 (有効回答者数 89 人を統計)



分析・課題

- 資格研修は、定員充足率が30%から93%と講座間の差異が大きかった。定員を充足するために、広報の方法、受講料などについての検討が必要であると同時に、フォローアップ研修など新たな福祉人材確保の取り組みの充実が望まれる。
- 同行援護従業者養成研修、重度訪問介護従業者養成研修、知的障がい者（児）移動支援従業者養成研修については、すでに福祉事業所で就労している方の受講が半数以上を占めた。福祉職としてのスキルアップの手段として、資格取得を目指していると考えられる。
- 介護職員初任者研修の修了生については、11人中6人が新たに福祉職に就いた。未就労の受講者についても、その後の就職説明会や見学会に参加するなど、高い就労意識が伺えた。
- 調布市高齢者家事援助ヘルパーの修了生については、45人中5人の就労に留まっている。家事援助ヘルパーが制度としてスタートしたばかりのため、利用希望者がいまだ少数であること、それに伴い家事援助ヘルパーの労働環境が未整備であることが原因であると考えられる。
- 保育のおしごと説明会では参加者一人ひとりの滞在時間が長くなるよう導線に配慮しながら

会場運営を行った。結果、昨年度と比較して、参加者数はほぼ同数ながら、総相談件数は57件から83件に増えた。

○保育のおしごと説明会参加者の希望する雇用形態は、正規職員よりパート、アルバイトが倍の希望者数で、非正規の形態を求めていることが明らかになった。

○福祉のおしごと相談・面接会では障がい・高齢・保育の三分野から出展を募り実施したが、保育の相談数が伸び悩むなど、分野ごとの偏りが見られた。今後は、障がい・高齢の福祉分野と保育分野を分けての実施を検討する必要がある。

## 2 専門性の向上

### 結果の概要

○受講者の幅広い研修ニーズに応じるため、アンケートの回答をもとに様々なテーマでの研修を企画し、昨年度の9回から17回に増やして専門研修を実施した。

○階層別研修は昨年度に引き続き受講料を有料としたが、テーマ別研修は多くの人に参加してもらうため無料とした。

○今年度初めて階層別の管理職、中堅職研修を実施した。管理職研修は充足率が40～60%であるのに対し、中堅職研修は23%と低かった。

○テーマ別の研修は、定員充足率が25%から137%とテーマによって大きな差異があった。

○半期ごとの研修予定表やちらしの配布、ホームページ、ふくしの窓などで広報を行った。

○計画していた高齢者の地域福祉活動スキルアップ研修については、高齢者家事援助ヘルパー養成研修に注力するため見送った。

### 実績等

#### (1) 専門研修の参加状況

##### ①階層別研修

日	時間	タイトル	講師	受講者数 (定員)	定員 充足率
4/27(水)	15:00～ 17:30	階層別施設長・管理職研修 (第1回)	山本雅章氏(調布市 子ども生活部長)	12人 (30人)	40%
6/22(水)	15:30～ 17:30	階層別施設長・管理職研修 (第2回)	山本雅章氏(調布市 子ども生活部長)	18人 (30人)	60%
7/8(金)	15:00～ 18:00	階層別初任者研修(第1回)	山本雅章氏(調布市 子ども生活部長)	14人 (30人)	46%
7/15(金)	16:00～ 19:00	階層別初任者研修(第2回)	小泉裕子氏・清水有 香氏(精神保健福祉 士)	15人 (30人)	50%
9/27(火)	15:00～ 18:00	階層別中堅職員研修 (第1回)	山本雅章氏(調布市 子ども生活部長)	7人 (30人)	23%

10/7 (金)	16:00～ 19:00	階層別中堅職員研修 (第2回)	小泉裕子氏・清水有香氏 (精神保健福祉士)	7人 (30人)	23%
合 計				73人	40%

## ②テーマ別研修

日	時間	タイトル	講師	受講者数 (定員)	定員 充足率
6/10 (金)	17:00～ 19:00	社会福祉法人会計基礎研修	橋詰俊也氏 (税理士)	15人 (20人)	75%
6/24 (金)	17:00～ 19:00	ライフサイクルとこころの病	石山淳一氏 (精神科医)	19人 (30人)	63%
8/26 (金)	18:00～ 20:00	知的障がい者の行動障がいについてのシンポジウム	朝日敏幸氏、三牧由季氏、時田秀明氏 (施設職員)	41人 (80人)	51%
9/30 (金)	17:00～ 19:00	福祉職員のためのストレスマネジメント研修	石山淳一氏 (精神科医)	13人 (30人)	43%
10/14 (金)	17:00～ 19:00	社会福祉法人経営研修	橋詰俊也氏 (税理士)	6人 (20人)	30%
10/21 (金)	17:00～ 19:00	個人情報保護とリスクマネジメント研修	横山泰治氏 (NPO法人副代表理事)	6人 (20人)	30%
11/11 (金)	14:00～ 17:00	ビジネスマナー研修	大村逸子氏 (マナー講師)	9人 (30人)	30%
12/16 (金)	17:00～ 19:00	階層別ストレスマネジメント研修	新村順子氏 (保健師)	5人 (20人)	25%
1/20 (金)	17:00～ 19:00	認知症について	石山淳一氏 (精神科医)	14人 (30人)	47%
1/27 (金)	14:00～ 17:00	情報公開に対応した実践記録の書き方を学ぼう	保正友子氏 (立正大学社会福祉学部教授)	23人 (30人)	77%
3/17 (金)	17:00～ 19:30	障がい者・高齢者の虐待防止研修	結城俊哉氏 (立教大学コミュニティ福祉学部教授)	41人 (30人)	137%
合 計				192人	55%

## 分析・課題

○中堅職員をどう定義するか検討した結果、今回は5年目以上の職員を対象にすることにした

- が、実際には参加者の経験年数にかなりのばらつきがあった。
- 中堅職研修の充足率が低いのは、中堅職員の位置づけが各施設で異なり、わかりにくいためと考えられる。中堅職員研修と銘打つのではなく、中堅職員の課題となりそうなテーマで実施するなどの工夫が必要である。
  - 専門研修の充足率が全体的に低いのは、比較的規模の大きい法人では内部研修が充実していること、中小規模の法人は人員が少なく研修に送り出す余裕がないため参加に結びつかないことなどが考えられる。
  - 参加者のアンケートは満足度が高かった。少人数での参加型の研修が満足度の高さにつながっていると思われる。
  - アンケート結果をもとに、様々なテーマで回数を増やし受講料を無料にしてテーマ別研修を実施したが、今後はテーマ、回数、開催時間の見直しや階層別研修とまとめるなどの工夫をして実施したい。
  - 広報についてもこれまでの方法に加え、メールの利用などを検討したい。

### 3 市民参入に向けた普及啓発

#### 結果の概要

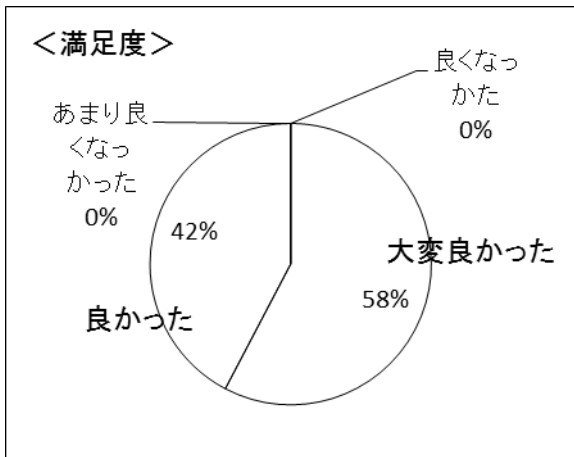
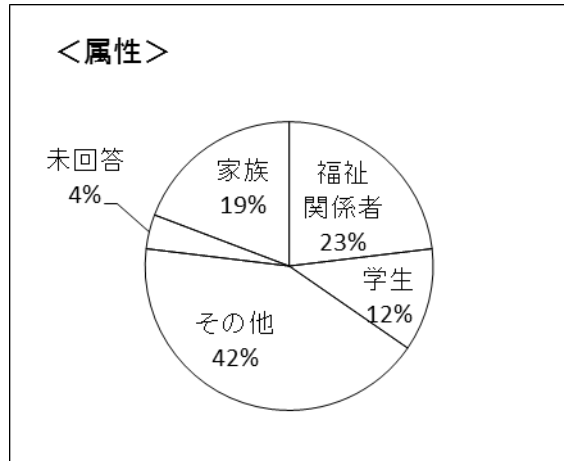
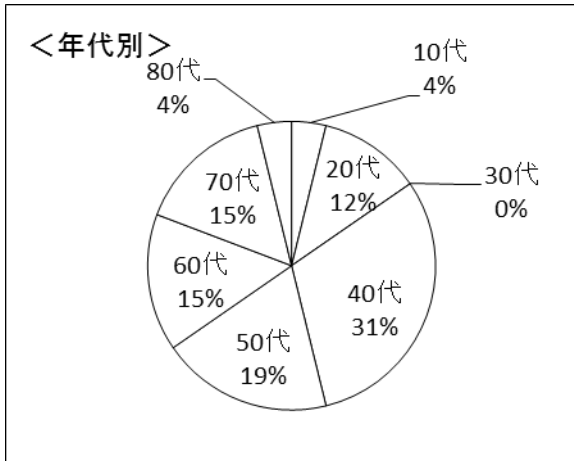
- 共催事業を含め年3回の講演会を計画したが、福祉人材センターとしての講演会のあり方を検討した結果、開催は1回にとどまったものの市民の障がい理解促進のための障がい当事者によるシンポジウムを行い、普及啓発の充実を図った。
- ふくしの窓や市報に事業紹介や研修案内の記事を掲載し、福祉分野への市民の参入を図った。
- 必要な情報を随時提供できるよう、調布市福祉人材育成センター独自のホームページを作成した。
- 調布市高齢者家事援助ヘルパー事業所説明会の資料として、各事業所から高齢者が活躍するための資源情報を取りまとめて提供し、ガイドブックに必要な情報収集を行った。

#### 実績等

##### (1) 講演会の参加状況

日	時間	タイトル	講師	受講者数 (定員)	定員 充足率
11/19 (土)	15:00~ 17:30	障がい者の地域生活 についてのシンポジ ウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷内孝行氏（桜美林大学 健康福祉学群専任講師）</li> <li>・愛沢法子氏（調布市視覚 障害者福祉協会長）</li> <li>・秋元妙美氏（C I Lちょ うふ代表）</li> <li>・就労支援室ライズ利用者</li> <li>・ちょうふだぞう利用者</li> </ul>	35人 (80人)	44%
合 計				35人	44%

(2) 講演会の参加者状況（有効回答者数 26 人を統計）



### 分析・課題

- アンケートの結果、「良かった」、「大変良かった」があわせて100%になったことから明らかに、参加者の満足度は大変高かった。障がい当事者の話を直接聞くことができたことが満足度の高さにつながったと思われる。
- 障がいに関する市民の理解を深めるため、障がい当事者を対象とした講演会は今後も継続して実施したい。
- 市内の研修情報の集約や、事業所の求人情報の掲載など、ホームページの内容について今後充実を図っていく必要がある。

## 4 事業所あるいは職員間のネットワーク形成

### 結果の概要

- 施設見学会や実習については、既存のネットワークで実施しており内容が重複していることから見送った。福祉人材センターとしてのネットワーク構築のため、実践報告を目的とした「調布福祉学会」（仮称）の企画会議を行った。

○市民向け施設見学会として、東京都福祉人材センターと共催して福祉のしごと見学会を実施した（再掲）。

## 分析・課題

○調布市福祉作業所等連絡会や調布地域精神保健福祉ネットワーク連絡会など、目的に応じたネットワークが市内に数多くあるなかで、調布市福祉人材育成センターがどのような目的をもって事業所や従事者のネットワークを構築していくか、引き続き検討する必要がある。

## 5 運営委員会

### 結果の概要

○学識経験者、関係機関、各ネットワークの代表、当事者を委員として運営委員を開催し、事業運営についての意見交換を行った。

### 実績等

(1) 調布市福祉人材育成センター運営委員構成（敬称略）

任期：平成27年6月1日～平成29年3月31日

氏名	選出区分
結城 俊哉	学識経験者（立教大学教授）
秋貞 由美子	学識経験者（ルーテル学院大学専任講師）
伊藤 文子	市民有識者（調布訪問看護ステーション）
秋元 妙美	市民有識者（NPO 法人全国重度障害者支援協会 CIL ちょうふ代表）
進藤 美左	当事者又は家族会（調布市障害者（児）団体連合）
関塚 元太	地域関係機関（調布ゆうあい福祉公社）
今宮 麗子	地域関係機関（調布市社会福祉事業団相談支援事業所「ちょうふだぞう」）
長門 大介	調布地域精神保健ネットワーク連絡会
亀田 良一郎	調布市福祉作業所等連絡会
鈴木 祐子	調布市地域包括支援センター連絡会
鈴木 乃	介護保険サービス事業者調布連絡協議会
平賀 由香	東京都福祉人材センター
田中 けい子	行政（調布市高齢者支援室）
川見 大	行政（調布市障害福祉課）
西田 雄次	社協関係者（理事）
木内 洋	地域関係機関（調布市社会福祉協議会相談支援事業所「ドルチェ」）



(2) 平成28年度 調布市福祉人材育成センター運営委員会開催状況

回数	開催日	内 容	出席人数
第1回	5/27(金)	委嘱状交付、平成27年度事業報告及び決算、平成28年度事業計画及び予算、平成28年度調布市福祉人材育成センター運営プロジェクト、調布市福祉人材育成センターアンケートについて	14人
第2回	9/16(金)	平成28年度上半期事業報告、平成28年度調布市福祉人材育成センター運営プロジェクトについて、調布市福祉人材育成センターアンケートについて	15人
第3回	12/12(月)	平成28年度9月～12月事業報告及び今後の事業予定、平成29年度事業計画にむけての意見交換	15人
第4回	3/6(月)	平成28年度12月～2月事業報告及び今後の事業予定、平成29年度事業計画(案)、平成29年度予算、2年間の任期を振り返って	15人